

2008年1月号 Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



Mini-WANとは

三河港湾事務所で従来から発行している季節広報誌「m-wan(エムワン)」では扱うことが難しかった新鮮な話題を中心に情報提供を行い、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

■巻頭コラム

■最近のトピックス

- 知多半島地域活性化セミナー開催
- へきなんマラソン大会
- 三河港湾事務所防災訓練実施(ロールフレイニング方式)
- 蒲郡駅にヨットが出現!
- ウォームビス実施中～働きやすく 暖かく 格好よく～
- 火災報知器の設置が義務化されました
- シリーズ～海と環境④～シーブルー事業による環境改善効果
- お知らせ 三河港潮位表をホームページにアップしました

☆CONTENTS☆



☆巻頭コラム☆

三河港湾事務所長 塩田 昌弘

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

先日、表浜海岸(渥美半島の太平洋側)の砂浜で、堆砂垣設置を初めて体験してきました。これは、海岸の侵食が問題となっている表浜で、木の杭と竹を使って簡易な垣根をつくり、砂の局所的な堆積を目的としたものでした。国土のほとんどが低い平地であるオランダでは、もっと大規模なやり方で行われていると聞いたこともあります。

当日は、朝9時集合、最低気温2℃、かなりの風(海ではサーファーが波を楽しんでいました)、作業は電動機械を一切使わず人力のみ、となかなか厳しい環境でしたが、昼過ぎには完成。ひと仕事した後のキムチ鍋は、格別の味でした。

地元をより良くしていこうとする方々の活動に敬意を表するとともに、今後もこのようなイベントに是非参加したいと思いました。また、堆砂垣が今後どうなるのか確認に来ようとも思いました。やはり、自分でつくったものは気になりますし、大事にしたいと感じます。みなとまちづくりも、まずは関心を持ってもらい、さらに実際に参加していただくことが大切、と感じました。

それでは、本年も輝かしい1年となりますようお祈り申し上げます。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。



国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

○火災報知器の設置が義務化されました

昨年6月に消防法が改正され、すべての住宅で火災報知器の設置が義務付けられました。既存の住宅については、各市町村の条例で設置義務化の期日が決められており、当事務所の西口宿舎(豊橋市)と中島宿舎(半田市)でも火災報知器の取付け工事を行いました。火災報知器設置の義務付けをご存知ない方も多いと聞いたことがあります。この記事を読まれた方はぜひ、ご自身のお住まいに火災報知器が設置されているかを確認してみてくださいはいかがでしょうか?

設置場所・設置機材等の詳しい内容は、お近くの消防署等で丁寧に教えてくれます。

火事が多い季節ですので、ぜひこの機会に点検を!!



設置工事の状況



設置完了!これで安心。

★シリーズ★

～海と環境④～ シーフルー事業による環境改善効果

現在、シーブルー事業で造成された人工干潟は、三河湾の海域環境改善に効果をもたらしていることが認知され、全国的にも先進的な事例として注目を集めています。

なぜなら、三河湾での人工干潟造成前は、効果を長期間連続で十分に検証されたデータが無かったからです。

当事務所では、人工干潟を造成した御津、西浦、田原の3地区において、造成直後から5年間に渡り、水質、底質、生物の継続的な調査を続けてきました。

その結果、3地区の人工干潟では、周辺海域に比べ青潮の原因ともなる海水が貧酸素状態になることも少なくなり、季節変化による影響が小さくなることを確認しました。また、良好な生物生息環境の維持効果が現れ、アサリやバカガイなどの二枚貝類やエビ・カニ類も造成1年後くらいから確認されました。人工干潟でもゴカイなど微小生物を大型生物が補食する食物連鎖が行われ、多様な生物の生息・生育が可能な豊かな環境を提供できることを確認できました。



造成された西浦地区の干潟



バカガイ



イシガニ

☆お知らせ☆

平成20年三河港潮位表をホームページにアップしました

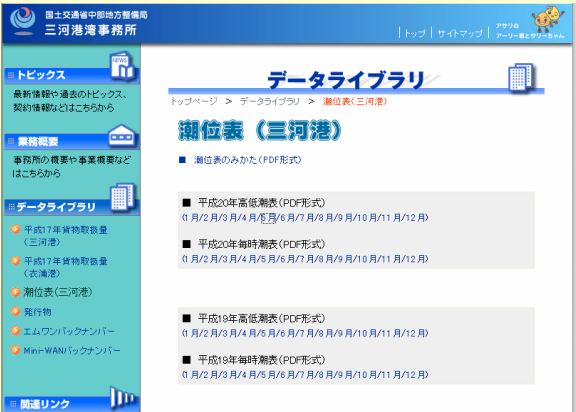
潮位表には三河港における満潮と干潮の時刻と潮位、毎正時ごとの潮位が掲載されています。

台風による高潮や津波などの異常な気象の影響は考慮してないため、時には相当の偏差を現わすことがありますが、釣りや潮干狩り等の参考にいただければと思います。是非ご活用下さい。

↓三河港湾事務所ホームページはこちら↓

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

★ホームページで、Mini-WANバックナンバーをご覧いただけます。★



○ 知多半島地域活性化セミナー開催

昨年度、「知多半島・先っぽ再発見ツアー」を実施した美浜町、南知多町では地域の人々が中心となり地元資源を活かした地域活性化に向けた検討を進めています。

11月28日、第1回セミナーが美浜町体育館にて開催されました。セミナーでは地域活性化プランナーの第一人者である藤崎慎一氏を招き「まちづくりと地域活性」と題した講演の中で、全国各地での地域活性化の成功事例、失敗事例を紹介していただきました。講演後、ワークショップ会議という形で美浜町河和地区、南知多町豊浜地区、日間賀島地区の三地区に別れ、それぞれの地区の特色の再確認と整理を行い、地域の魅力としてとりまとめました。

12月18日、美浜町図書館会議室にて開催された第2回セミナーでは、第1回セミナー以降各地区で検討を続けてきた地域の魅力について議論をするとともに、地域ブランド作成の達人である武田斉紀氏より「ブランド化、らしさについて」という講演の中で、特産品を活かした地域のブランドづくりを進める事例について紹介していただきました。講演後に美浜、南知多地域の特産品を抽出し、ブランド化に向け必要な手段についてワークショップ会議で議論され、特産品のブランド化に向けた手順を検討しました。

次回は、1月22日、美浜町図書館会議室において「話題づくり」と題して、「じゃらんガイドブック」元編集長の今村まゆみ氏より、情報発信手法について御講演頂く予定です。その後、2月中旬を目処に、これまで検討を続けてきた地域活性化方策を、地域全体で取り組むアクションプログラム（行動計画）としてとりまとめる予定です。当事務所としても、引き続き、知多半島地域の振興を積極的に支援して参ります。

○へきなんマラソン大会

12月16日、第42回へきなんマラソン大会が開催されました。碧南市は「元気ッス！」を掲げ、成人の週一回以上のスポーツ実施率50%を目指すスポーツ振興が盛んなところです。今大会は、今年は惜しくも12位と入賞を逃した愛知縣市町村対抗駅伝競争大会（愛知県）の選手選考も兼ねており、参加者は真剣そのもの。

そんな中、異彩を放つ不思議な茶色の集団がジョギング部門（1.5km）の最後尾に出没。真剣な大会の中、観衆の笑い誘う彼らはパフォーマンス賞を受賞していました。彼らは何者だったのでしょうか。

12月23日、豊橋市内で茶色の集団が再び目撃されました。どうやら子供達のもとにクリスマスプレゼントを配っていたようです。



マラソン大会への参加はトレーニングだったのでしょうか。
さて、彼らは来年も姿を現すのでしょうか？



第1回セミナー（美浜町体育館にて）



第2回セミナー（美浜町図書館にて）



○三河港湾事務所防災訓練実施（ロールプレイング方式）

12月21日、ロールプレイング方式による防災訓練を実施しました。この訓練は内容を事前に周知することなく、災害時を想定した様々な課題を訓練参加者に突発的に与え、問題解決にあたらせるという実践的な訓練であり、職員の災害対応能力のスキルアップを目的として実施したものです。

今回は初めての試みとして、中部地方整備局に登録された防災エキスパート（港湾空港に詳しく、災害時に被災情報収集など支援していただくボランティアの方）も訓練に参加し、職員と協力して課題の解決にあたっていました。

参加者のほとんどがロールプレイング方式による防災訓練の経験がなく、訓練開始当初はとまどう場面もみられましたが、訓練が進行するとともに要領を得てきて、終盤には的確に課題をこなせる様になりました。

今回の訓練では、防災体制の移行がスムーズに行なわれなかったり、被災状況の報告漏れがあったりと若干の反省点はありませんでしたが、参加者のほとんどがロールプレイング方式の防災訓練が初体験であったことを考えるとまずまずの結果が得られたと思います。

○蒲郡駅にヨットが出現！

JR蒲郡駅南駅前広場にヨットが出現しました。「海のまち蒲郡」を象徴するシンボルとして竹島ふ頭から移設されたものです。

このヨットは、92年のアメリカズカップに出場するために造られたニッポンチャレンジ艇で、全長23m、マスト先端までの高さは38mにもなります。

現在は、最終調整のためシートに覆われていますが、3月にはその勇姿を表します。また、広場全体を入江に見立て、ボードウォーク（木道）やベンチ、映し出される影が船の形となるシェルター（屋根）など海をイメージしたものも併せて造られます。

蒲郡に訪れた際には、もう一隻のヨットが置いてある竹島ふ頭とも併せて、ぜひお立ち寄り下さい。

○ウォームビス実施中 ～働きやすく 暖かく 格好よく～

地球温暖化防止及び省エネルギーのための取組みとして、今年も11月1日から3月31日までの期間、ウォームビズを実施します。暖房は19度を目処にしておりますので、当事務所にお越しの際には暖かい服装でお越しく下さい。

今年度のCO₂排出量削減の目標は、平成13年度比8%削減としております。

夏期に実施したクールビズでは、冷房を29度に設定し、また蒸し暑い梅雨や真夏日でも風がある日には冷房使用を控えました。

これからの時期、当事務所は海に面しており風も強いので底冷えする日々が続きますが、厚手の服装や、体を暖かくするため事務所内の移動は小走りをする等し、ウォームビズに心掛けてまいります。地域の皆様も地球温暖化防止及び省エネルギーにご協力をお願いいたします！



訓練の様子



ヨット出現

船の形のシェルター



働きやすく 暖かく 格好良く

地球温暖化防止と省エネのため
室温は19度を目途にしています

平成19年11月～平成20年3月まで
WARMBIZ

WarmBizとは、暖房に必要なエネルギー使用量を削減し地球温暖化を防止することを目的とし、過剰な暖房を抑制する呼びかけです。